

PRESS RELEASE

2023.1.26

リアル（写実）のゆくえ 現代の作家たち 生きること、写すこと

日本は、明治期の近代化に伴い西洋由来の写実表現を本格的に受容しました。一方で、鎌倉時代の仏像や江戸期の自在置物などに見られるように、そもそも日本には固有の写実表現があり、明治期以降は出自の異なる2つの「写実」が混在することとなりました。その結果、部分描写を重視する高橋由一の独自のリアリズム絵画が生まれ、彫刻では高村光雲や平櫛田中が伝統彫刻に西洋的な造形を加えた精緻な表現に挑みました。そして、この系譜は現代を生きる作家たちにも脈々と受け継がれています。

本展では、これらの写実表現がどのように継承・再考されてきたのか、高橋由一の油彩画や松本喜三郎らの生人形を導入として、現代作家17名の絵画・彫刻作品から探ります。

展覧会名	リアル（写実）のゆくえ 現代の作家たち 生きること、写すこと
会期	2023年2月11日（土）-2023年4月2日（日）
出品点数	120点（うち1点は半期展示）
会場	久留米市美術館（本館2階）
主催	久留米市美術館、読売新聞社、テレQ
後援	久留米市教育委員会
制作協力	NHK エンタープライズ中部
スペシャルパートナー	株式会社ブリヂストン
オフィシャルパートナー	学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、株式会社森光商店、喜多村石油株式会社、株式会社ユー・エス・イー
入館料	一般 1,000円（800円） シニア 700円（500円） 大学生 500円（300円） 高校生以下無料 ※障害者の方は手帳のご提示で、ご本人と介護者1名は一般料金の半額。（ ）内は15名以上の団体料金、シニアは65歳以上。 上記料金にて石橋正二郎記念館もご覧いただけます。
休館日	月曜日
開館時間	10:00-17:00（入館は16:30まで） 2/11（土）、2/25（土）、4/1（土）は19:00まで延長開館（入館は18:30まで）
交通案内	JR 博多駅より JR 久留米駅まで新幹線で20分、快速で40分 福岡（天神）駅より西鉄久留米駅まで特急で30分、急行で40分
本展に関するお問い合わせ	久留米市美術館 展覧会担当：森 智志 広報担当：山口佳那子 〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015（石橋文化センター内） TEL0942-39-1131/ FAX0942-39-3134

PRESS RELEASE

2023.1.26

見どころ

明治期の「写実」

西洋の写実表現を本格的に受容した明治期。江戸期の自在置物などに見られるような日本固有の「写実」を既に獲得していた日本人は、西洋由来の技術や感性をどのように獲得していったのでしょうか。本展ではその過渡期を生きた高橋由一や松本喜三郎らを展覧会の導入として紹介します。



松本喜三郎《カニ》1888年
公益財団法人島田美術館蔵



高橋由一《鯛（海魚図）》
1879年頃 金刀比羅宮蔵



関義平《狝置物》明治時代
富山県立高岡工業高等学校
青井記念美術館蔵

出品作家：松本喜三郎、安本亀八、室江吉兵衛、室江宗智、高村光雲、関義平、須賀松園（初代）、平櫛田中、高橋由一

彫刻

「彫刻」という言葉は明治期に翻訳として誕生したもので、もともと日本にはない概念でした。生人形に関心を寄せて松本喜三郎の下絵をもとにその再現を試みた小谷元彦、異素材の質感を漆芸で再現し見立ての妙味を追求する若宮隆志、枯れゆく自然物に命の時間を見ようとする七搦綾乃など、現代で「彫刻」に挑む作家たちが、松本喜三郎や高村光雲などから何を受け継ぎ、どのように作品へと昇華しているのか探ります。



若宮隆志《鉄瓶—鉄錆塗—》
2015-19年 古美術鐘ヶ江蔵



七搦綾乃《rainbows edge XV》
2021年 作家蔵



橋本雅也《アヤマ》
2019年 個人蔵



小谷元彦《SP3 channeling
松本喜三郎義足構想模型》
2021年 作家蔵

出品作家：佐藤洋二、前原冬樹、若宮隆志、小谷元彦、橋本雅也、満田晴穂、中谷ミチコ、本郷真也、上原浩子、七搦綾乃

PRESS RELEASE

2023.1.26

絵画

高橋由一は、遠近法をはじめとする科学的で普遍的な技法を熱心に学ぶ一方で「絵事ハ精神ノ為ス業ナリ」と絵画における精神性を重視しました。長い時間をかけて制作を行い、対象の変化と自身の実感をキャンバスへ写す水野暁、無機質な物体をデジタル上で解体・再構成し有機的なイメージを作り上げる牧田愛、身の回りにあるものを「絵画」にすることで元々与えられている意味や用途から解放する横山奈美など、自身の精神性を表現する手段として写実を選んだ作家たちを紹介します。



水野暁《日本の樹・二本の杉
(白山神社／東吾妻町・伊勢の
森／中之条町)》2018年
個人蔵



牧田愛《Cosmoplastics》
2012-13年 東京藝術大学蔵



深堀隆介
《金魚酒 命名 宵雪》
2021年 作家蔵



横山奈美《逃れられない運命を
受け入れること》2016年
gigei10蔵

出品作家：本田健、深堀隆介、水野暁、安藤正子、秋山泉、牧田愛、横山奈美

関連イベント

①美術講座「生人形と近代の彫刻 ―リアルさとは何か― 日本彫刻の特異点」

(要申込)

講師：小谷元彦氏(展覧会出品作家、美術家、彫刻家)

2月18日(土) 14:00~16:00(開場13:30)

会場：美術館1階多目的ルーム1

定員：50名

要申込、参加無料

②ワークショップ「見つめて描く」

講師：秋山泉氏(展覧会出品作家、画家)

日時：3月18日(土) 10:30~13:30

集合場所：美術館2階エントランス

定員：10名

対象：中学生以上

要申込、要本展覧会チケット

PRESS RELEASE

2023.1.26

③秋山泉氏によるギャラリートーク

日時：3月18日（土）10:30～（30分程度）

集合場所：美術館2階エントランス

申込不要、要本展覧会チケット（上記ワークショップの一部です。どなたでもご参加いただけます）

④担当学芸員によるギャラリートーク 3月11日（土）14:00～（30分程度）集

合場所：美術館2階エントランス

申込不要、要本展覧会チケット

申込方法

〔①②とも〕参加希望イベント名、参加者全員の氏名（2名まで可）、代表の方の郵便番号、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、またはwebでの申し込み

Webでの申し込みは美術館ホームページをご覧ください。

応募者多数の場合は抽選となります。

①2月3日必着 結果は2月10日までにお知らせします

②2月24日必着 結果は3月3日までにお知らせします

作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
4. 当館が指定するクレジットを必ず作品と一緒に掲載してください。クレジットは別紙の「広報画像利用申込書」をご参照ください。
5. Web ページ掲載の場合は、必ずコピーガードの処理をお願いします。
6. 広報用作品以外の画像をご希望の場合は、申込書の「その他」の欄にタイトルを記入してください。
7. 掲載見本を必ず1部お送りください。